

京都帝國大學文學部考古學研究報告 第十四冊

大和島庄石舞臺の巨石古墳

昭和十二年

京都帝國大學

京都帝國大學考古學部研究報告目録

第一冊	肥後に於ける裝飾ある古墳及横穴 (大正六年發行) 絶版	濱田耕作、梅原末治
第二冊	河内國府高安及貴志石器時代遺跡發掘報告 河内國府肥後轟等にて發掘せる人骨 (大正七年發行) 絶版	濱田耕作、梅原末治、島田貞彦 鈴木文太郎
第三冊	九州に於ける裝飾ある古墳 彌生式土器形式分類聚成圖 (大正八年發行) 絶版	濱田耕作、梅原末治、島田貞彦
第四冊	河内國府石器時代遺跡第二回發掘報告 (大正九年發行) 絶版	濱田耕作、長谷部言人
第五冊	備中國津雲貝塚、肥後國轟貝塚發掘報告 (大正九年發行) 絶版	清野謙次、島田貞彦 濱田耕作、榊原政職
第六冊	薩摩國出水郡出水町尾崎貝塚發掘調査報告、出水貝塚の 貝殼獸骨及び人骨、薩摩國揖宿郡指宿村遺跡調査報告 (大正十年發行) 定價金四圓	濱田耕作、島田貞彦 長谷部言人
第七冊	攝津高槻在東氏所藏の切支丹遺物、京都及其附近發見の切支丹墓碑 切支丹教名合字鞍及南蠻人繪鞍に就いて 日本發見銅鏃銅鉾銅劍聚成 (大正十一年發行、同十五年再刷) 定價金七圓	新村 出、濱田耕作 濱田耕作、梅原末治
第八冊	近江國高島郡水尾村の古墳 日本發見金製耳飾劍環頭同鹿角製刀裝具聚成 (大正十三年發行) 絶版	濱田耕作、梅原末治
第九冊	豊後摩崖石佛の研究 (大正十四年發行) 絶版	濱田耕作
第十冊	出雲上代玉作遺物の研究 日本發見磨製石鏃及石劍聚成 (昭和二年發行)	濱田耕作、島田貞彦、梅原末治
第十一冊	筑前須玖史前遺跡の研究 須玖岡本發見の古鏡に就いて (昭和五年發行)	島田貞彦 梅原末治
第十二冊	讃岐高松石清尾山石塚の研究 (昭和八年發行)	梅原末治
第十三冊	新羅古瓦の研究 (昭和九年發行)	濱田耕作、梅原末治

京都帝國大學文學部考古學研究報告 第十四冊

# 大和島庄石舞臺の巨石古墳

昭和十二年

京都帝國大學

大和島庄石舞臺の巨石古墳

京都帝國大學總長  
元同教授文學博士

濱田耕作

石舞臺古墳の巨石運  
搬法並に其の築造法

京都帝國  
大學教授

高橋逸夫

日本古墳巨大石室聚成  
日本方形古墳聚成

京都帝國大學  
助教

梅原末治

## 序 言

大和國高市郡高市村大字島ノ庄の石舞臺古墳は、其の石室の巨大なる點特に其の封土を失ひて石室構築の殆ど全貌を裸出せる點に於いて、實に本邦稀有の存在なり。されば其の石室の内部に堆積せる土砂を清掃し、全構築を明かにせんと欲するの念久しかりしが、昭和八年遂に日本學術振興會の援助を受け、此の事業に着手し、更に翌々十年奈良縣史蹟調查會の事業として、其の調査を繼續し、略ぼ豫定の計畫を完了することを得たり。之に由つて石室の構造を明確にしたる外、當初全く豫期せざりし方形の封土と、其の外堤の存在を顯出し、我が考古學上に最も重要な一寄與をなすに至れることは、余輩の最も欣幸とする所なり。乃ち其の調査の結果を輯録して本報告を作製し、廣く學界の批判を請はんと欲す。

余輩は本報告の完成に際して、石舞臺古墳の始より終に至るまで、長時日に互つて現場の勞苦に任じ、能く調査を遂行せられる本學部囑托末永雅雄君に向つて深甚なる謝意を表すると共に、能く同君を助けて、勞苦を分たれたる文學士瀨津正志君に向つても、深謝の意を表す。又特に實測を擔當されたるに多大の援助を與へられたる同縣技師岸熊吉、同技手稻森賢次兩氏並に奈良縣社寺課長汀定雄、津田辰三兩氏の外、本學助教梅原末治君はじめ、齋藤忠君、小林行雄君、高市村々長脇本熊次郎君、橘寺住職辻岡良盛師、大阪軌道株式會社及同社員新井和臣君及び大阪毎日新聞社、大阪朝日新聞社等が、各種の方面に向つて、此の調査事業に致される援助と厚意とは、報告本文の隨處に記すが如く、余輩の深く銘謝せんと欲する所なり。

余輩は又梅原末治君が、本報告の記述に資せんが爲め、特に我國の方形墳及び巨大なる古墳石室の聚成を作製せられたること、本學工學部教授高橋逸夫氏が余輩の請を容れて親しく石舞臺古墳を視察し其の巨石築造法に關する考察を記述し之を本冊に掲載せらるゝ光榮を與へられたることは、太田喜二郎畫伯が石舞臺古墳の寫生圖を惠與せられ、之を以て卷頭を飾るを得しめられたること、共に、特に感謝措く能はざる所なり。

昭和十二年四月二十二日

京都帝國大學文學部考古學教室に於て

濱 田 耕 作

【附記】 大正五年私が歐洲留學から歸朝して、其の翌年はじめて本考古學報告の第一冊『肥後に於ける裝飾ある古墳及横穴』を出版して以來二十二年、私共はベトリイ先生の教を守つて、毎年一冊の刊行を期して居たが、豫定の如く進捗せず、今茲漸く此の第十四冊を發行することとなり、而かも其の印刷半ばにして、私は圖らずも考古學教室を去らなければならぬことになつてしまつた。私は多忙なる新しい任務に就いて以來もなほ其の編纂と校正を續け、茲に兎に角完成の運びとはなつたが、定めし不満足な所が多いこと、私自身も懼れてゐる。今度私が考古學教室を去つても、此の研究報告は不相變繼續して發刊せられ、益々立派なものとなり、我が考古學界に貢獻す可きものあることは、私の堅く信じて疑はない所である。たゞ私自身の關係する此の報告の出版が、本冊を以て終結することとなつたことに就いては、私は過去を顧み將來を想ひ、實に感慨無量である。此處にこの私情を附記することを許されたい。(八月十四日)

目次

大和島庄石舞臺の巨石古墳

第一章	序	説	一〇
第一節	調査以前の石舞臺古墳		一
第二節	調査發掘の事業		五
第二章	古墳内部の構築		九
第一節	羨道		九
第二節	玄室		二一
第三節	排水施設		二五
第三章	古墳外部の構築		一八
第一節	封土下方部の遺構		二〇
第二節	空渥と外堤		二三
第三節	封土上部の遺構と形狀		二四
第四章	發見の遺物		二六
第一節	石室内部の遺物		二八
第二節	石室外部の遺物		二九

第三節	主要なる遺物	三二
第四節	各種遺物の性質と年代	三六
第五章	石舞臺西北の小古墳	四三
第六章	考 說	四五
第一節	復原せられたる石舞臺古墳	四五
第二節	石舞臺古墳の築造法	四八
第三節	石舞臺古墳の年代	五四
第四節	石舞臺古墳被葬者の問題	六一
第五節	後 語	六五

### 附 録

石舞臺古墳の巨石運搬並に其の築造法	七二
日本古墳巨大石室聚成	八三
日本方形古墳聚成	八三

梅原末治

# 圖 版 目 次

## 卷 首

晩秋の石舞臺 (太田喜二郎書伯筆)

本文對頁照

第一	景觀 石舞臺古墳石室 (東面觀) (末永撮影)	一—四
第二	景觀 (1) 石室前部南面觀 (同上) (2) 同上部西面觀 (同上)	一—四
第三	景觀 石舞臺古墳附近航空寫眞 (大阪朝日新聞社飯沼飛行士、奥野寫眞部員撮影)	一—四
第四	景觀 (1) 石舞臺古墳所在地附近 (赤外線寫眞) (西方より望見) (2) 同上 (同上) (東方より望見)	一—四
第五	景觀 石舞臺古墳附近地圖 (末永實測・小林製圖)	一—四
第六	石室—羨道 (1) 石室南西觀 (昭和九年十二月八日撮影) (末永撮影) (2) 同上方羨道部發掘前原狀 (同上)	一—四
第七	石室—羨道 (1) 羨道部埋土の發掘初程 (2) 同上 (同上)	九—一〇
第八	石室—羨道 (1) 羨道部埋土の發掘及落下巨石の移動 (同上) (2) 同上 (同上)	一〇—一一
第九	石室—羨道 (1) 羨道部巨石引揚作業 (同上) (2) 羨道部落下石材 (同上)	一〇—一一
第一〇	石室—羨道 (1) 羨道部遺物出土狀態 (同上) (2) 同上 (同上)	二六—二九
第一一	石室—羨道 玄室羨道清掃工事 (同上)	一〇—一一
第一二	石室—羨道 (1) 羨道北端充塞の礫石 (羨道より望見) (同上) (2) 同上近景 (同上)	一〇—一三
第一三	石室—羨道 清掃後の羨道北端 (大阪毎日新聞社高田寫眞部撮影)	一〇—一一

第一四	石室―羨道	(1) 羨道部より石室への清掃作業(末永撮影)	10・11
第一五	石室―羨道	清掃後の石室より羨道を望む(大阪毎日新聞社高田寫眞部員撮影)	11・12
第一六	石室―玄室	(1) 玄室南方部の礫石(清掃以前)(末永撮影)	
		(2) 玄室奥壁附近の堆土(清掃以前)(同上)	13
第一七	石室―玄室	(1) 玄室内部清掃(照明装置)(同上)	13
第一八	石室―玄室	清掃後の玄室内部(大阪毎日新聞社高田寫眞部員撮影)	11・12
第一九	石室―排水溝	(1) 清掃後の羨道部排水溝(末永撮影)	15・17
第二〇	石室―玄室	(1) 玄室内部實測(末永撮影)(2) 石室外部實測(同上)	16
第二一	石室―外部	(1) 石室外部清掃(同上)(2) 外側部の試掘(同上)	13・14
第二二	石室―實測圖	(奈良縣實測原圖に據る)(小林製圖)	9・17
第二三	外部 石舞臺古墳外部發掘調査地圖	(末永實測・小林製圖)	10・17・18・19
第二四	外部―下方部	(1) 下方部東側貼石(昭和八年十二月五日檢出)(末永撮影)	
		(2) 下方部南邊空隄内散列の石塊(同上)	18・19
第二五	外部―下方部	下方部南邊貼石(昭和十二年七月松原氏撮影)	21
第二六	外部―下方部	(1) 下方部南邊貼石(東方より望見)(昭和十二年七月撮影)(同上)	21
		(2) 同上(西方より望見)(同上)	21
第二七	外部―下方部	下方部東南隅貼石(末永撮影)	10・11
第二八	外部―下方部	下方部東邊貼石(同上)	10

第二九	外部—下方部	下方部東邊貼石(未水撮影) . . . . .	二〇
第三〇	外部—下方部	下方部東北隅角貼石(同上) . . . . .	二一
第三一	外部—下方部	(1) 下方部東北隅貼石(上方より俯観)(同上) . . . . .	二一
第三二	外部—下方部	下方部西北隅角貼石(同上) . . . . .	二二
第三三	外部—下方部	下方部西邊貼石(同上) . . . . .	二三
第三四	外部—封土上部	(1) (2) 上部封土基底部散石(同上) . . . . .	二五
第三五	外部—外堤	(1) 外堤南邊東方内側貼石(西方より望見)(同上) . . . . .	二五
		(2) 同上(東方より望見)(同上) . . . . .	二五
第三六	外部—外堤	(1) 外堤南邊内側貼石(同上) (2) 同上外側貼石(同上) . . . . .	二三
第三七	外部—外堤	(1) 外堤東南隅貼石(北方より望見)(同上) (2) 同上(西方より望見)(同上) . . . . .	二三
第三八	外部—外堤	(1) 外堤西北隅角内側貼石(同上) . . . . .	二三
		(2) 外堤北邊内側貼石(同上) . . . . .	二三
第三九	外部—外堤	(1) 外堤北邊内側貼石及堤上の巨石(同上) . . . . .	二三
		(2) 外堤西北隅外側貼石殘部(同上) . . . . .	二六・二四
第四〇	西北小古墳	(1) 石舞臺西北方小古墳發掘(同上) . . . . .	四三・四四
		(2) 同上石室及石棺殘部(同上) . . . . .	四三・四四
第四一	出土遺物	土師器大鍋(復原)及同外底(福井氏撮影) . . . . .	二九・三一・四〇
第四二	出土遺物	土師器及祝部器(同上) . . . . .	二八—三五・四〇—四二

第四三	出土遺物	土師器及祝部器(同上) . . . . .	二八—三五、四〇—四二
第四四	出土遺物	土師器及祝部器破片(同上) . . . . .	二八—三五、四〇—四二
第四五	出土遺物	金屬製品錢貨及獸骨(1)鍍金菊座金具(2)鍍金帶金具、 (3)鍍金尾錠(4)獸骨(5)元豐通寶(6)元祐通寶(7)(8)永樂 通寶(9)(10)寬永通寶(羽館氏・福井氏撮影) . . . . .	二九、三〇、三五、四一、四二
卷末地圖	飛鳥地方地形圖(陸地測量部五萬分之一吉野山圖幅分載)		
別圖第一	石舞臺古墳航空寫真(大阪毎日新聞社寫真) . . . . .	(挿入頁)	八・九
同	石舞臺古墳航空寫真(大阪朝日新聞社寫真) . . . . .		二二・二三
同	(1)石舞臺古墳石室模型(2)石舞臺古墳外部形狀復原模型(荒谷・小林) . . . . .		二四・二五

### 附 錄 圖 版

第一	日本古墳巨大石室聚成 . . . . .	五版
第二	日本古墳巨大石室圖 . . . . .	二版
第三	日本方形古墳聚成圖 . . . . .	一版

# 挿圖目次

第一圖	島庄附近地形圖(陸地測量部五萬分一地形圖に據り修正)	二
第二圖	『西國三十三所名所圖會』所載石舞臺繪圖	三
第三圖	石舞臺古墳前の故エリオット・スミス教授(清野謙次博士寫眞)	四
第四圖	發掘開始前佛式慰靈祭(末永)	六
第五圖	石舞臺古墳石室中央橫斷略圖(小林)	二二
第六圖	同 所在地東西南北斷面想像圖(濱田、小林)	二四
第七圖	同 石室排水系統圖(同上)	二六
第八圖	加賀法皇山第七號橫穴平面圖(石川縣史蹟調查報告第一)	二七
第九圖	石舞臺古墳附近地籍圖(高市村役場所藏圖に據る)	二八
第十圖	同 石室東側封土外堤空潭貼石圖(濱田、小林)	二〇
第十一圖	同 封土復原想像圖(濱田、小林)	二七
第十二圖	同 外堤發見石棺破片	三〇
第十三圖	近江崇福寺址發見小花瓶形陶器(滋賀縣史蹟調查報告書)	三四
第十四圖	石舞臺古墳發見漆塗陶器破片	三四
第十五圖	シヨワシー氏考察古代巨石運搬法想像圖(シヨワシー氏著書所載)	三六
第十六圖	修羅 圖(梅園日記所載)	三三
第十七圖	修羅石引圖(同上)	三五

第十八圖	朝鮮恩津灌燭寺事蹟碑拓銘(梅原)	五四・五五
第十九圖	大阪城大手門内巨石石垣	五四・五五
第二十圖	京都方廣寺前巨石石垣(角田文衛君)	五四・五五
第二十一圖	石舞臺外堤南側附近出土遺物(昭和十二年)	七〇

### 高橋氏論文挿圖目次

第一圖	轆轤	七四
第二圖	挺子による巨石の揚出	七五
第三圖	轉子による巨石の移動	七五
第四圖	修羅による巨石の移動	七六
第五圖	土手を用ひたる挺子の操法(側面圖)	七七
第六圖	同上(平面圖)	七七
第七圖	巨石の兩側を揚げた状態	七八
第八圖	石室天井石の据付け	八〇
第九圖	高橋教授考察石舞臺巨石運搬及築造法(山田紫光畫伯筆)	六九・七〇
第十圖	石舞臺石室南面觀(松原氏撮影)	八三

京都帝國大學文學部考古學研究報告 第十四册  
大和島庄石舞臺の巨石古墳

京都帝國大學文學部版權所有

昭和十二年十月十日印刷  
昭和十二年十月廿日發行

編輯代表者

濱田耕作

發行者兼  
圖版印刷者

桑名巖

活版印刷者

福井松之助

京都府京都市中區  
二條下二丁目五番

發行所 京都市中區  
夷川寺町西入

桑名文星堂

電話五六〇三番

發賣所

定價 九圓

一誠堂

東京府神田區  
通稱保町五

刀江書院

東京府神田區  
錦町三丁目

丸善株式會社

東京府日本橋區  
三丁目

茶牙地圖 飛鳥地方地形圖



陸地測量部作成 \* 吉野山圖幅分載

尺之一分万五

0 5 10 20 30 40 50 100 200 300 400 500 1000 2000 3000 4000

1 里

REPORT UPON ARCHÆOLOGICAL RESEARCH IN  
THE DEPARTMENT OF LITERATURE, KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY  
VOLUME XIV, 1937

---

**MEGALITHIC TOMB ISHIBUTAI  
AT SHIMANOSHO IN YAMATO**

WITH

**METHODS OF TRANSPORTATION AND CONSTRUCTION  
OF MEGALITHS OF THE ISHIBUTAI**

AND

**A CORPUS OF IMPORTANT MEGALITHIC STONE-CHAMBERS  
OF ANCIENT TOMBS IN JAPAN, &c.**



**THE KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY**

---

**KYOTO 1937**